

(新庄村立)

新庄中

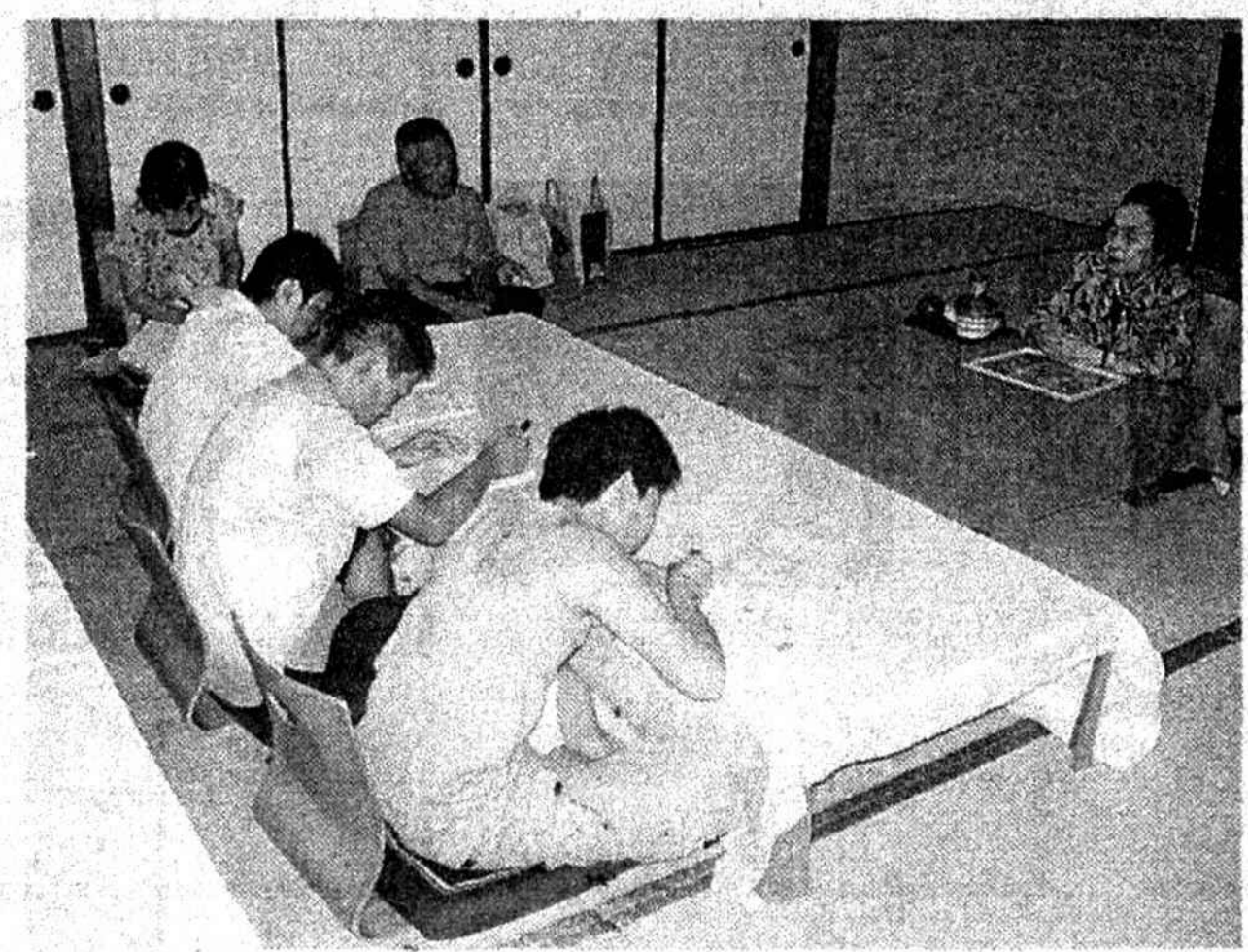
石田茜(2年)書

【学校名】 しんじょう・中学校
 【所在地】 岡山県新庄村2134
 【校長】 岸川盛男
 【生徒会長】 黒田光一郎
 【生徒数】 28人
 【教育目標】 知恵を磨き、感性を磨き、心を磨く
 【沿革】 昭和22年4月、小学校を仮校舎として開校。同28年4月に新校舎落成、校旗が制定された。同39年には校歌が制定され、同43年には体育館が完成した。平成11年12月、新校舎が完成し、現在に至る。
 HPアドレス <http://ww31.tiki.ne.jp/~shinjo-chu/>

私たちが つくった 紙面です

新庄中学校では、前期の総合的な学習の時間に、「平和学習」をしています。
 一年生では、事前に岡山空襲センターや岡山空襲平和資料館などで学習し、班別で戦跡などを見て回ります。
 二年生では、事前に広島原爆などについて調べて、広島平和資料館や広島などで学習します。平和講演会では、十七歳で被爆された方からお話をお聞きします。似島では、野戦病院跡や検疫所などの説明を聞きなが

戦争の体験談聞く 平和学習



らフィールドワークをします。三年生では、沖繩地上戦について調べて、ひめゆり平和資料館や糸数壕などで学習します。糸数壕では、暗闇の体験をしたり、当時の様子の説明を聞いたりします。平和講演会では、ひめゆり学徒隊に所属していた方から体験談や平和の大切さなどのお話を聞きます。
 この三年間の平和学習を通して、僕は戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、後世の人たちに伝えていかなければならないと思います。(1年 香山雅治)

ひめゆり学徒隊だった方から体験談を聞く生徒たち



苗を大きな鉢に移植する生徒たち

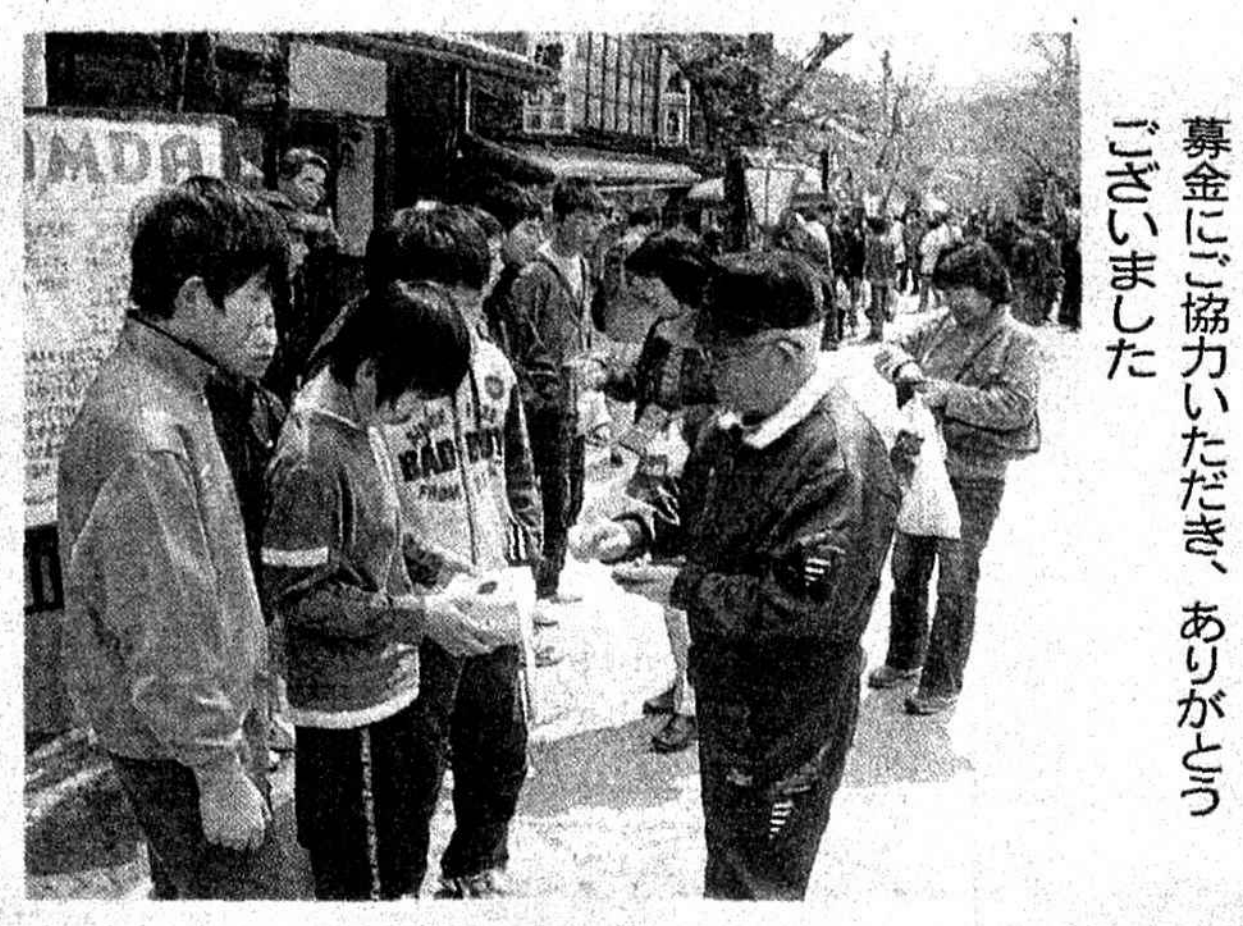
菊づくり 地域とふれあい

新庄中学校を代表する式会場にも飾ってもらい行事といえば、菊作業が あげられます。地域の方 が講師として来てくださり、菊づくりの指導をし、油かす・米ぬか・魚肥・み重ねていくことで、きれいな形の菊を作っていきます。他にもきれいな菊を作るには、わき芽取りが重要になってきます。菊の節々から生えてくるわき芽をこまめにとらないと、きれいな花は咲きません。
 このような苦勞を積み重ねていくことで、新庄中学校のシンボルとなる、地域の方やお年寄りから愛される菊の花になっていくので、菊配りの時、「いっつもありがとう」などと声をかけてくださる方がいます。吹き飛ばします。(3年 黒田光一郎)

全校生28人が協力 指導受け、みんなに配る

新庄村には、春になると、学校のみんなで分担「がいせん桜祭り」があり、焼いて売ったりしています。この桜祭りでは、焼いて売ったりしていただいた、たくさんのお客さんに寄付していただくイベントを、今年もAMDA募金にいられます。生徒会では、家からいろいろ金、みんなの協力いろいろな種類の使えそうな物のおかげでたくさん集まってきたり、提供していただきました。(1年 山中秀斗)

バザーや募金活動 がいせん桜祭り



募金にご協力いただき、ありがとうございました



この新聞を作るのに、三年生の中から六人の生徒が立候補しました。一回目の会議では、どんな記事を書くか決めました。その結果、新庄中学校にしかないような行事について書くことにしました。
 新聞の記事を書いて、いろんな行事を振り返っている、新庄中学校では全校生徒で取り組む行事が多いことに
 【編集委員】(左から) 黒田光一郎、横山征一(3年)、上田達也(2年)、前川侑司、山中秀斗、香山雅治(1年)

